

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

第19回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

在校生対象の第19回「三世代をつなぐ 駒カフェ」は、2023年1月28日（土）13時から15時まで、第1会議室にて、対面で開催することができた。「駒カフェ」への参加生徒10名（高2：1名、中2：2名、中1：7名）は、いくつかのグループに分かれて、OBスタッフと一っしょに会話をした。会話の内容は、駒場東邦に入学してからの感想、部活動のこと、体育祭と文化祭のこと、勉強のこと、将来のことなどを生徒が述べ、スタッフOBにも質問していたようだ。

「駒カフェ」に参加してOBスタッフと会話をする中で、今までは自分の中に眠っていたものや気づけなかったことが刺激されて、新鮮に感じて、新しいものが自分の中に生まれることがあったのではないかと思う。

参加生徒の感想

- ① 駒カフェは今回が初めてだったが、駒カフェのふんいきを体感することができた。駒カフェはいろいろな話を聞いてくれそうな感じで、とても良いふんいきだった。実力試験の成績があまりふるわず、少し自信をなくしていたが、駒カフェで話したことで、少し自信がついた。駒カフェには、とても性格の明るい人がたくさんいた。
- ② 自分のOBの方の中で同じような人がいたので意外でした。駒東の多くの方がかなりの有名人になっているので感心した。駒東の勉強が改めて、めんどくさいと思った。
- ③ 駒東生で駒東の先生である人達と話ができて、いろいろなことがわかりました。今と前の駒東の違いや、7回生の人達が駒東をどう感じていたのかがよくわかりました。ドリンクとお菓子を下さり、ありがとうございました。

④ 自分は英単語が苦手で色々どうやったらいいか教えてくれてありがたかったです。

⑤ 自分が苦手なところの改善点をすこし知ることができた。



⑥ なかなか会うことのできない7回生の先輩や、前校長先生とお話をして昔の駒東の事や、今いる先生のお話など様々な話をできたのでとてもよかった。なかなか聞けないお話を聞くことができ将来のことや今後の学校生活のことを考えるいい機会になった。また参加したいと思った。

⑦ 今回初めて参加しました。正直少しかたくるしいイメージがあったけどOBの方はとてもやさしく接してくれたので楽しかったです。話を聞いているなかで自分の将来や学校についてなど様々な事を考えるきっかけとなるものがつまっていたなと感じました。また今度も駒カフェに来てたくさんのお話を聞きたいです。今日はとてもためになる話をさせていただいてありがとうございました。

⑧ 最近、成績が少し落ちてきたように感じ、勉強は何のために…とか、これからどうしよう…という悩みが生まれていたが、一種の意見として、文系理系という区別についてや人は協力して進んでいくものだ聞いて、学べた。ゲームとかスマホとともに育ってきたという環境と恨むこと自体ただのわがままなのかも知れないけど、折角人として生まれたし幸せをこの環境の中で追ってもいいのかなと思えた。話は違うが「動物がかわいそう」とか「気の毒」みたいな意見がばかりしいとか冷たいようなことばかり思っていたが、みんなを幸せにするでもいいかなと思った。駒カフェを60年後も続けてほしい。

⑨ 今回一緒に話した方は話が上手で聞いていて非常に楽しかった。私の兄が、話が苦手だと言っていたから、是非話してあげてください。小さな話から話を広げさらにそこから話を広げる能力に感心した。話してくれた内容をまとめてくれたから聞きやすかった。例) 理系・文系について…そこに差

はなく、助け合うことが大切だ。ゲームについて…本来はケンカや木登り、野原に駆ける方が良い。等々面白かった。おかしがおいしかった。ジュースがもらえてうれしかった。経歴を聞くと実はスゴイ人だったから、非常に意外だった。

- ⑩ 普段話すことも関わることもないOBの方々と関われる機会ができてよかった。当時の駒東のことや、この先の生き方について考える良い機会になったと思う。ジュースにお菓子を食べながら話ができ楽しかった。

OB スタッフの感想

- ① 高2から中1までの生徒10名と話をした。高2生とは将来のこと、中学生とは、駒場東邦での生活のこと勉強のことなどを話した。どの生徒も礼儀正しく話をしてくれた。同級生や保護者との会話とは異なり、おじいちゃんのようなOBスタッフと安心して話をするすることで、何か新しい視点からものごとを捉えることもできるようになってもらいたいと思っている。駒カフェスタッフに自分の思っていること、何でもよいので、「駒カフェ」でお話をしましょう。お待ちしております。
- ② 下校する駒東生に、参加を呼びかけながら、なんにんかと立ち話をしました。土曜日は放課後、塾に行く生徒が多く、時間がとれない状況がかなりあるようでした。 そのうちの一人は、将来の目標はもっているが、その選択肢をさらに広げるためにも、難関大学を目指し、塾の勉強にも励んでいるとのことでした。またある一人は、駒カフェは前から気になっているので、次回は参加したいとのこと連絡先をメモしてくれました。印象として、駒東生は、勉学に励みながらも、実社会の状況についてはそれなりにかなり気にしているようでした。駒カフェは、今の実社会の状況について、駒東OBとの気軽な雑談を通してリアルに伝えることができ、社会をより広い視野からみる機会が提供されるという点で意義がありそうです。駒東OB側も、駒東生の鋭い観察力に触れ、大き

な刺激を受ける機会になります。OB スタッフの層をさらに厚くして、相互に刺激しあえるような関係になれたらと思いました。

- ③ 今日の参加者は10人で、前回とは大きく異なり、賑やかで楽しい駒カフェになったと思います。勉強の目的に迷いを感じている生徒が多かったと感じました。当然いずれかは越えねばならない壁ですから、大いに悩んで今日の話を理解し、自分なりの考えを持って進んで行ってほしいと思います。勉強は、させられるものではなく、する権利の対象です。きっと皆、それぞれの理解をし、この権利を行使していくと思います。
- ④ 黒岩先生の食堂でのファインプレーとHFさんの地道な勧誘のチームプレイが繋がって10人の参加者となりました。ほとんどの子がジュースやお菓子里に釣られてきましたが、きっかけを作ることは大切です。お菓子里がきっかけになるのなら、きっかけ作りを真剣に考えていきます。
- ⑤ 今回も予約申し込みはなし。はたして・・・ところがスタッフ二人の熱心な勧誘（ペットボトルと菓子提供）により？予想以上の生徒が顔を出してくれた。（10人） 中1 中2が多かったが 2～3名のグループが話し出すと とても感じがよく協力的であった。今の置かれている状態に満足している人が多く 順調に成長しているのは嬉しいこと。むかしの駒東のことを話すと 目をキラキラして聴いてくれた。私がいちばん興味をもったのは第一会議室前でスタッフと私 立ち話をしてくれた高2の生徒だった。彼 時間なくてゆっくり座って話せなかったが 自分の状態 位置を把握して語ってくれた。勉強が好きでないこと 成績いまいちだけど 駒東にいたので 東大を狙う 東大なら将来の選択肢が増えるから・・・ 何になりたいとか 何の勉強がしたいとかないけど日本史が成績いいので日本史の教師になりたい・・・私は元駒東の日本史教師だから こういう彼に大いに興味がわく。自分を分析して自分の弱点を語る姿が好ましかった。「時間のある時連絡してください」と伝えておいた。

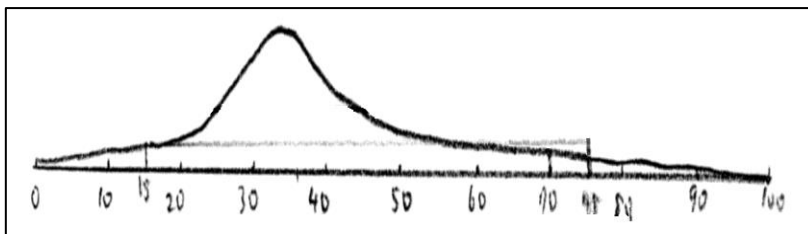
- ⑥ 都合で、少し遅れて会場に入った。そこでは、いくつかのグループに分かれて、話が弾んでいた。感想文を書き始めていた中2のお二人と話を始めた。帰るのを引き止めることに躊躇した。60年前の駒東を思い出していた。同期のスタッフにも、あどけない昔の姿が重なった。当時の「理系」、「文系」という言葉が思い出されたので、会話のきっかけとした。「文系」かなとの回答。「文系」と「理系」って分けられるというより、両方の融合の重要性を話題に、話が進んだ。一人が、「スタッフは、お爺ちゃんと同じ年（世代）だ」という。鋭いと思った。15歳と75歳の共通性があるから、会話が楽しめる。この共通性で同じ土俵に立ち、差異で話題を掘り下げる。共通性は総合力で、差異は可能性と経験であると考え。基礎を学ぶ時は、得意分野や特技を生かすことで、集中的に力をつけることができる。まず、柱を立てること。その柱を中心にして、「理系」と「文系」も含めて、多種多様な融合で総合力になる。総合力は、新たな「夢」に繋がると、目を輝かせている若いお二人に、期待をする駒カフェでした。
- ⑦ 売店の叔父さんとニコニコ、話をしながらおにぎりとお折詰を購入するのでピンクの小銭入れの中身をぶちまけて、そこから叔父さんに代金をとってもらった。で、食堂には生徒たちが食事をしようとして集まっている。こんなにリラックスしている後輩たちがいるので、もしかして、これから始まる駒カフェへの勧誘が一人でも二人でもできるかなと下心が働いた。もともと駒カフェでは、ペットボトルとおやつを用意して来室を待ってはいるがピンクの小銭入れはそれ用の財布。会場の入り口で「駒カフェでお茶を飲みながら」と勧誘しても私たちの言葉に反応する駒東生はほとんどいない。で、特定の対象に声をかけるのではなく、食堂にたむろする駒東生たちに呼びかけた。カウンターの上の小銭を指して、これから駒カフェがあるから、ここに小銭をおいてあるから、この小銭でお茶を買って駒カフェにおいでと、声を上げたところ、ちょっとしたざわめきが起こり、私はそのまま退散した。たまたまそこには駒カフェスタッフの保護者OGが居合わせ、あとのケアをしてくれたようで、ここからの参加者を含めて10人ほどが参加した。駒カフェは現役駒東生を対象と

しているが、カフェに駒東生がいるに越したことはないが、OBや教員たちだけでもお茶を飲みながら、駒東文化の中で心に浮かぶことを話す場と私は考えている。19回目の駒カフェではあるが、私は毎回駒東文化の新たな切り口を見せてもらっているように思う。ブラボー、駒カフェ！

◎ 参加生徒の感想文に添えられた図です。

スタッフ一同、まず、素晴らしいと感動しました。次の瞬間、多くのスタッフは顔を見合わせて、「はて、何の図」と疑問の声が上がり、その後、会話が弾みました。

それでは何と解きますか？



スタッフ N：「星の王子様」と解く。図が似てる？

スタッフ X：「駒カフェ」と解く。

横軸は年齢、縦軸は総合力、15と75を繋ぐ。15歳（±3歳）の生徒と還暦後15歳のスタッフの総合力が同等？スタッフが少し低い？

「総合力が似たものが集まって「駒カフェ」。話題は駒東生活ゆかりの夢と希望」です。

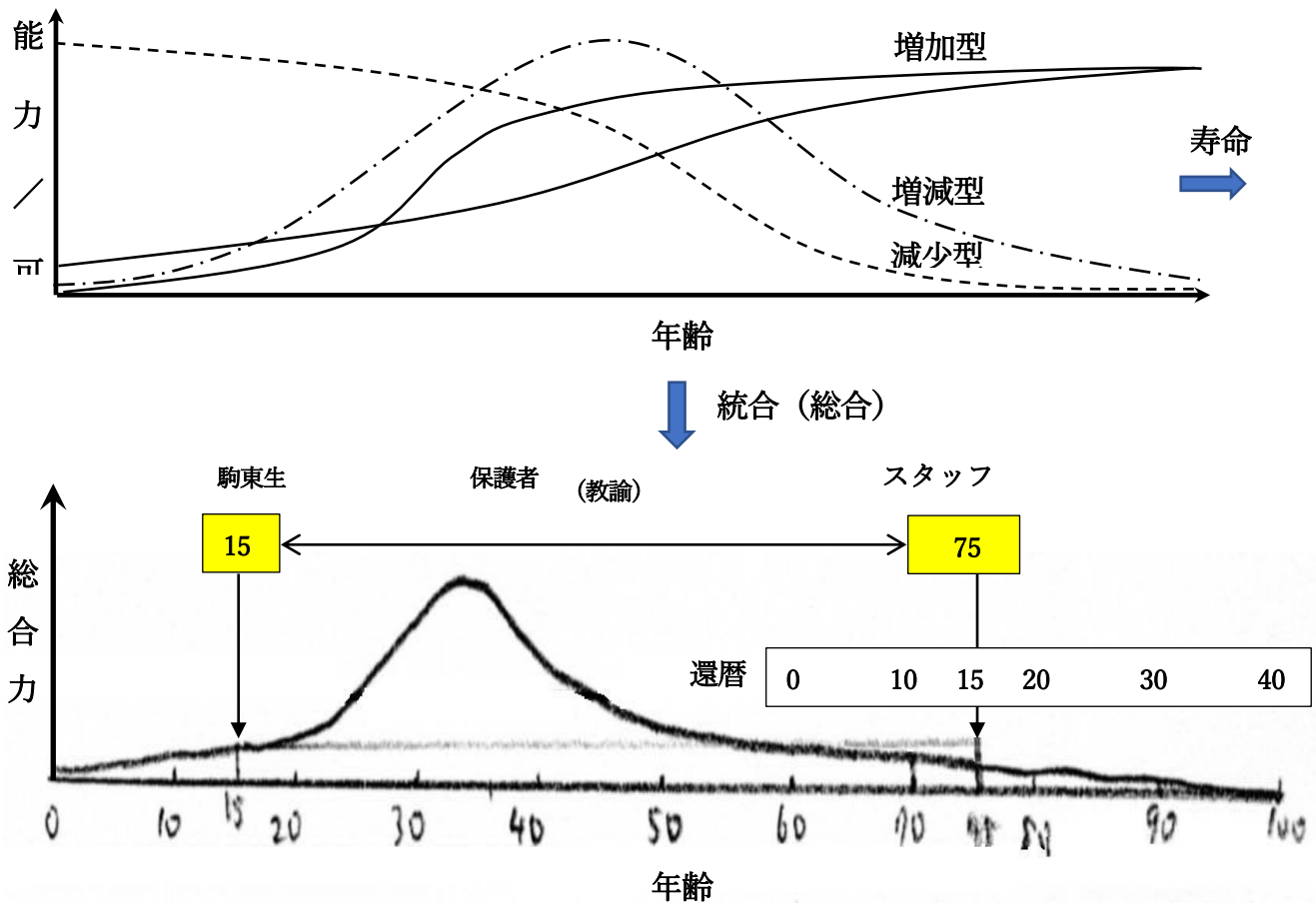
いかがでしょう。

年齢による変化

体力、知力、包容力、柔軟性、記憶力、運動能力、経験、・・・は、年齢によって変化します。

その変化は、増加型、増減型、減少型に分類されます（減増型も考えられますが省略）。

模式的に統合することで、増減型の「総合力」と見ることができます。



図が生まれたテーブルの会話

文系と理系の融合で可能性が広がること、夢を膨らますことで新たな可能性を見つけること。生徒の強みは「可能性」、スタッフの財産は「経験」。その融合で、何が期待できるでしょう？

還暦を考慮すると繋がる駒東生とスタッフの連携。経験の継承による夢の拡大が、「駒カフェ」の話題になっていました。

解説

経験は増加型、体力や知力は増減型、余命は減少型、になると思います。

駒カフェで雑談をする時、参加メンバーは、どうなるでしょうか。共通の話題という接点がなければ、話は始まりません。極論ですが、言葉を覚えたてでも幼児や意欲を失った高齢者は、何人集まっ

でも会話は成り立たないでしょう。どんなに話の達人でも、興味の接点が無ければ、話題に引き込むことはできません。

興味に接点があることが、カフェが成り立たせるための必用要件になると考えられます。

個別には力量に大きな差があっても、参加者の総合力が似ていて、さらに共通の興味がある場合に、カフェは盛り上がると思われます。

個別の力や特性を、むりやり統合して「総合力」として見ました。還暦とはうまく考えたもので、年齢は、60年の差で似たレベルになると見ることができないでしょうか。

実年齢の75歳は、還暦を過ぎた還暦15歳で、現役15歳の中学生と同年になります。

中学生の体力や知力は、増減型の上り坂にあって、還暦15歳は下り坂で、似たレベルと考えました。

経験は、明らかに増加型であって圧倒的に還暦15歳が豊富です。可能性は現役15歳が明らかに大きいですが、増加型か増減型かは意見が分かれると思います。

夢や希望はどうでしょう。

夢は、両15歳が相互に分けることができ、相互作用によって双方で大きくなると、淡い夢を見ます。夢が膨らめば、希望も膨らむ。希望が膨らみ、波及的に幸せになる。

還暦15歳は、60年分追加の人生経験を活かして、現役15歳の夢を壊さない会話にすることで、ウィンウィンの「駒カフェ」になると期待します。

保護者とスタッフの「駒カフェ」では、現役15歳を包容する会話が楽しめると思います。現役15歳を見守る夢を膨らませることを期待します。

○ 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。

○ 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナーをクリックすると、駒カフェの情報を見ることができるようになりましたのでご覧ください。

○ これからの予定

2/25 (土) 13:00~15:00 第20回 駒カフェ (在校生対象) . . . 第1会議室

3/11 (土) 13:00~15:00 第21回 駒カフェ (保護者対象) . . . 第1会議室



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠 (駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー)

平野 勲 (駒場東邦スクールカウンセラー/前校長)

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェ  でお会いしましょう!